

平成30年度 石川町総合教育会議

日 時 平成31年3月1日（金）
午後3時開会
会 場 役場第1・第2委員会室

1 開 会

2 町長あいさつ

3 審 議 事 項
議案第1号 石川町教育大綱について
議案第2号 学校教育の現状と課題について

4 そ の 他

5 閉 会

平成30年度石川町総合教育会議

開催年月日	平成31年3月1日(金)	会議の場所	役場第1・2委員会室	
開閉会日時	開会	平成31年 3月 1日	午後3時00分	
	閉会	平成31年 3月 1日	午後4時25分	
出席の状況 (○ 出席)	職 名	氏 名	出欠の別	附 記
	町 長	塩田 金次郎	○	
	教育長職務代理者	草野 文明	○	
	教 育 委 員	鈴木 后世	○	
	教 育 委 員	郷 隆	○	
	教 育 委 員	小木 友子	○	
事務局職員 で出席した 者の職氏名 (○ 出席)	教 育 課 長	矢吹 重雄	○	
	主幹兼指導主事	鈴木 道裕	○	
	課長補佐兼総務係長	瀬谷 利幸	○	書記
	主任主査兼学校教育係長	鈴木 辰也	○	
	課長補佐兼体育施設長兼体育振興係長	荒木 成輔	○	
	主幹兼課長補佐兼公民館長兼歴史民俗資料館長	二瓶 伸一	○	
	主任主査兼生涯学習係長	草野 智子	○	
	主任主査兼文化振興係長	角田 学	○	
会議の経過	別紙のとおり			

会 議 録

塩田町長	それでは審議事項に入ります。
	議案第1号「石川町教育大綱について」を議題とします。事務局の説明を求めます。
矢吹課長	教育委員のみなさまには、2月の教育委員会定例会で概要をご説明したところですが、この大綱は「石川町第6次総合計画」を基本として構成されております。(資料に基づき詳細に説明する。)
塩田町長	ただいま事務局から説明がありましたが、質疑等があればお受けいたします。教育委員の方々にはすでに概要のご説明があったということですが、改めてお気づきの点等があれば、ぜひお聞かせください。
全委員	特にありません。
塩田町長	質疑等がないようですので、議案第1号「石川町教育大綱について」は、提案のとおり決定することとします。
	続きまして、議案第2号「学校教育の現状と課題について」を議題とします。事務局の説明を求めます。
鈴木指導主事	児童生徒数の推移、児童生徒の学力の現状、いじめの現状、不登校の現状、学校教育の課題、平成30年度の事業内容、今年度の成果と課題について、資料に基づき詳細に説明する。
塩田町長	ただいま、事務局から説明がありましたが、質疑等があればお受けいたします。
鈴木委員	町内の学校に勤務する先生で、精神的なストレスなどで入院や通院をしている方はいますか。
鈴木指導主事	そのような状態の先生はおりません。
鈴木委員	先生が心身ともに健康でなければ、子どもたちにより教育をすることは難しいと思うので、十分な配慮をお願いしたいと思います。
鈴木指導主事	先生方には、事務的な整理業務が大きな負担になっていることから、県で進めている校務支援システムの導入を図り、負担の軽減ができればと考えております。
	また、部活動については、県の指導に合わせ週二日の休みを取り入れているほか、朝練の見直しも進めており、先生の負担軽減を図っているところ です。

郷委員	小中学校の授業に「学び合い」を導入していますが、子どもたちの席順なども工夫しているのでしょうか。
鈴木指導主事	「学び合い」を進めていくうえで、席順の入替えはとても大切なことです。偏りなくいろいろな人と交流する中で、さまざまな考え方に触れながら納得する考えを持つことが大事なことなので、席順の工夫もしながら進めているところです。
小木委員	英語教育を小学校3年生から始めていることのことですが、中学校に入った時の習熟度のようなものは変わっていますか。
鈴木指導主事	児童の習熟度を理解したうえで中学校入学後の授業を進められるよう、中学校の先生が小学校の授業を見る機会を設けるなど、小中連携の取組みを図っているところです。
小木委員	プログラミング教育の説明がありましたが、先生が教えるのでしょうか。
鈴木指導主事	文部科学省では民間企業と共同でプログラミング教育のためのウェブサイトを作っており、これを活用しながら授業を行っていくことになると思いますが、教えるのは先生や民間企業の方になります。 石川町の場合は、このサイトを利用するのにもセキュリティの問題から難しく、ネット環境の改善も図っていかなくてはならないと考えています。いずれにしましても、まだ実践例が少ないため、今後進めていくうえで解決しなければならない課題は多いと思います。
郷委員	プログラミング教育を実施する場合、どれぐらいの時数になりますか。
鈴木指導主事	まだ決まっておりません。他県等の事例も参考にしながら、今後検討していくことになります。
郷委員	小学校での英語教育ですが、文法も教えるのですか。
鈴木指導主事	文法は行いません。小学生は、3・4年生が「聞く」「話す」、5・6年生はさらに「読む」「書く」を加えて学習します。
郷委員	英語教育の場合、児童の評価はどのように行っていますか。
鈴木指導主事	現在は移行期にあるため、数値での評価は行っておらず、文章での表現になります。

草野職務代理者	先生の勤務は、朝早くから夜遅くまでと本当に大変だと思いますが、部活動の朝練は大会での結果にも反映されていると思うので、これをやめることの是非はいろいろな判断があると思います。
	また、部活動の朝練等を通して子どもが成長したことも実感できており、何がベストな判断なのかは迷うところですね。
鈴木指導主事	県では教員の負担軽減を図るため、部活動指導員制度を設けていますが、これを受けてくれる人材を探すのがなかなか難しいというのが現実です。
小木委員	私の子どもも部活動の朝練に行っていました。親の送迎は大変でしたが、朝練の成果か全国大会にも出場することができ、素晴らしい経験をすることができましたので、その判断は難しいものがあると思います。
郷委員	中学校の部活動ですが、そもそも何を根拠に実施しているのでしょうか。また、部活動の指導を先生が行うのは義務なのでしょうか。
鈴木指導主事	学習指導要領では、部活動は自主的自発的に行われるもので、学校教育の一環として行われているものであり、学習意欲の向上、責任感や連帯感の涵養、好ましい人間関係の形成等に寄与するものとされています。
	こうしたことから、部活動の指導は義務ではなく自主的なものです。
草野職務代理者	P T Aの間では、夏休み中などの長期休業中、部活動用のバスを出すことはできないかという意見があります。これは教育委員会の判断になってくる部分かと思いますが、少しずつでも改善を図っていただければいいと思います。
塩田町長	練習はうそをつかないという言葉がありますが、一方では先生の負担や保護者の負担という一面があるのも事実ですので、今後も引き続き検討していかなければならない課題ですね。
	また、私が県議会議員をしていた頃の状況だと、福島県の学力は全国の中で低いほうで、その中でも特に県南は低かったと記憶していますが、今日の鈴木先生の説明では、本町児童生徒の学力はだいぶ改善されていることを知り、とても喜ばしく思っています。
	やはり、子どもたちの学力を上げるためには、先生方の指導力向上が欠かせないと思いますので、今後も研修等に力を入れていただければと思います。
鈴木指導主事	今までは各学校内での研修が主なものでしたが、現在は小中連携を図り町内の学校全体での研修を進めており、いい方向に進んでいるのではないかと考えています。

塩田町長	私がPTA活動を行っていた頃には、年2回テーマを決めていじめ問題などについて勉強をしたものです。子どもたちに対しては、学校の先生だけではなく、PTAも含めながら関わっていくことが大切なのではないかと感じています。
鈴木指導主事	いじめについて、現在では「いじめはある」ことを前提とした取組みを行っています。各学校では、ささいなことであってもいじめに関することであれば積極的に認知し、早期に対応することで事態が深刻化することを防いでいます。
塩田町長	子どもたちには、ふるさと石川を大切に思う心を持ってほしいし、歴史や伝統についても理解を深めてほしいと思っています。
鈴木指導主事	ふるさと教育を進め、石川町の歴史、伝統などを理解するとともに、本町の姿を改めて理解できるような取組みを行っています。
塩田町長	机の上での学習も大切なことですが、実際に現場に行って歴史や伝統に触れることが何よりも大切なことだと思います。それにより、ふるさと石川を愛する心も自然に芽生えてくるのではないのでしょうか。
郷委員	教育委員会では、現場に行って学習を行う場合などに使用する、移動用バスを持っているのですか。
鈴木指導主事	教育委員会所有ということではないですが、移動学習を行う場合には、町所有のバスや石川中学校にあるバスを使用しています。
鈴木委員	現在、町民と町長が対話する機会を設けているようですが、子どもたちとも語り合う機会を、何日かでもいいので設けてほしいと思います。 町長とお話しができることになれば、子どもたちは一生懸命勉強したり調べ物をすると思います。これにより、地域のこと、石川町のことなどをいろいろと学ぶことになると思います。
塩田町長	鈴木委員のご提案は素晴らしいことだと思いますので、ぜひ取組みたいと思います。
小木委員	一時期、学校の図書費予算が少なくなったと思いますが、読書はとても大切なことなので、必要な図書は整備してほしいと思います。
草野職務代理者	町立図書館が4月にオープンしますので、学校との連携を図り、子どもたちにも積極的に図書館を利用してもらってはいかがでしょうか。

